

「食」のユニバーサル化 学生プロジェクトを世界へ

SDGsプロジェクトとは？

大和大学社会学部（代表：辻村実莉、今中哲也、曾我吉乃ら 他約50人）

大和大学社会学部は2022年から、**学生が中心となって企画・運営する「SDGsプロジェクト」**を始めました。「**持続可能な社会**」の実現に向けて、身近なチョコレートやラーメン、コーヒーなどを用いて、**社会実装と地域貢献**を目指すものです。現在は、7つのユニットで構成されていますが（右図）、「みどりの食料システム戦略」に基づいた「調達」「消費」の側面で、3つのユニットの活動をご紹介します。



フードロス削減ユニット 「りぷる-ripple-」の活動

箱が損傷していたり、賞味期限切れが近いチョコレートや袋スープを販売し、**フードロス問題を訴える活動**をSNSで社会発信。地元の障害者施設とコラボして、ダイバーシティの実現を目指す。

コーヒーユニット 「珈琲倶楽部Noir」の活動

フェアトレードを考慮したコーヒー豆を探し出し、**規格外の和歌山の備長炭を用いて焙煎**し、ハンドドリップで一杯ずつ丁寧に提供。大阪や京都などのイベントに参加している。

ラーメンユニット 「麺の下の力持ち」の活動

規格外で捨てられてしまう食材（舞鶴の煮干しや淡路島の玉ねぎ）を使った**オリジナルのラーメン「すいたがるラーメン」**を開発し、地元に常設店も開いた。

パートナー企業・団体



<提携>

- ・有限会社ぎょうななはち（ベルギー輸入会社）
 - ・第3世界ショップ
 - ・吹田市の旭通商店街 片山商店街
 - ・ルカ・ステインドグラス
 - ・淡路島ソーラーファーム
- #### <協力>
- ・NTTデータSBC
 - ・野村不動産

2024年の活動実績

2/3	吹田市のイベント「すいた環境教育フェスタ」に出店
2/10-3/14	障がいを持つ方の作品を販売する「FUYUNIRE」とコラボ、社会発信
3/7	「ユニバーサルデー」の展開
3/22-23	多様性と福祉をテーマに交流する場「はなえむ」に出店
3/20-24	「魚ジャパンフェスティバル」に出店
4/1~	吹田市役所でラーメン開店（2025年2月まで）
4/27-28	淡路島の「城下町洲本レトロなまち歩き」に出店
5/4・5	地域活性化イベント「やまとマルシェ」を主催
5/17-19	「ジャパンコーヒーフェスティバル」に出店
6/22	地域活性化イベント「Well Being ESAKA」に出店
7/3-5	大学内でフードロス削減PR、「セタフェスタ」主催
8/16-18	中国・深圳の展示会「CaffeeX」で日本のコーヒー文化発信
9/7	吹田市のイベント「すいたフェスタ2024」に出店
9/13	ウクライナ団体に募金・売上金の一部を贈呈
9/28-29	吹田のイベント「SUITA YEG EXPO 2024」に出店

表彰

- 1月 「サステナアワード」優秀賞受賞
- 6月 「令和6年度吹田市環境表彰」受賞

メディア出演・掲載

テレビ：NHK、朝日放送、MBS、関西テレビ

新聞：朝日、産経、日経、毎日、読売

社会実装 地域貢献

「ユニバーサルデー」 （みんなの日）

3月7日は、バレンタインデーとホワイトデーに挟まれた「**誰もが誰にも感謝する日**」として**記念日を創設**。地元の障害者施設や商店街と協力し、2年間の実績がある。



写真2④ フードロス削減をPRする学生
写真5⑤ サステナアワードで表彰される学生



<注> これらのプロジェクトの遂行のため、大学ベンチャー「株式会社ヴェリダス」を立ち上げ、契約や経理の透明化、保険の締結などを担い、社会的責任を果たしている。



写真1 ウクライナの団体へ支援活動



写真3 淡路島のイベントでラーメンを提供し、地域活性化に寄与する学生

海外展開

ウクライナの団体へ支援活動を展開した。中国や韓国でコーヒーのイベントに出店した。香港ではラーメンイベントにも出店し、**国際ラーメン学会も立ち上げた**。これまでに、以下の大学と交流し、プロジェクトに協力した。

- ・ワルシャワ大学
- ・コペルニクス大学
- ・香港大学



写真4 名付け親の学生とミャクミャク

まとめ

私たちのプロジェクトは地域だけでなく、世界に広がりを見せており、今後は、海外の大学と連携を深めた上で、国際シンポジウムの開催を企画している。

特に、2025年には、大阪・関西万博が予定されており、万博を活用したPRの促進を予定している。

（万博キャラクター「ミャクミャク」を命名したのは大和大学社会学部の学生）

背景写真：大和大学の森と芝生の広場